

ながぬま



小麦収穫作業開始

— 5区 田中 大輔さん ほ場 —

新規就農者に激励状を贈る

7月17日、長沼町民会館で長沼町食料・農業・農村振興協議会の主催による新規就農者激励会が開催されました。

戸川町長からは、「農業は地域を支える重要な産業であるが、後継者不足が問題となっている中で、今年は10名が新規に就農され大変心強い。これまでの経験を活かし、情熱を持って意欲的に農業を取組んでほしい。また、長沼町や各関係機関、地域の方々がみなさんを支援していきたい」と挨拶されました。

成田組合長からは、「本年は10名の新規就農される方々が、長沼町の農業者に仲間入りしていただいた。激励会にも、様々な関係機関が来ており、分らないことがあれば、地域の先輩方や関係機関が、しっかりとサポート体制をとっているのので、安心して営農してほしい。また、昨年は台風や地震などの自然災害が多く発生したが、今後も長沼町やJAなどが連携しサポートしていきたい。みなさんの活躍を期待したい」と激励されました。

と激励されました。

平井町議会議長からは、「農業情勢は変化している中で、国際的な競争力が必要となる農業経営の時代となっている。町の基幹産業である農業の基盤維持に町議会もしっかり対応したい。これからの農業経営が厳しい道のりとなるかもしれないが、



系統五連からの激励状が手渡されました

焦らず努力し、消費者の笑顔を糧に、誇り高い農業者になってほしい」と挨拶されました。

成田組合長から、一人ひとりに系統五連（中央会、信連、ホクレン、厚生連、共済連）から送られた激励状が手渡され、出口忠雄さんが新規就農者を代表して、「農業経営は厳しい時代を迎えているが、強い意志を持って、一日も早く地域の方々から認めていただけるような農業者になれるよう、努力していきたい」とお礼を述べられました。



抱負の言葉を述べる出口忠雄さん



新規就農者紹介



1区 北原 奨悟

本年度より新規就農させていただくことになりました。

農業経験は浅く未熟者でありますので、両親や地域の方に農業に関する知識や技術を教わり仕事を覚え、安全・安心な農作物を作れるよう頑張っていきたいと思っております。



5区 クロス ダニエル ウィリアム

この度、2年間の研修を終えて、仲野りんご園の後継者として新規就農できる喜びを感じています。仲野さんご夫婦のりんごに対する熱い思いを引き継ぎ、安定した経営を目指して家族と共に頑張っていきたいと思っております。

長沼町は、札幌近郊からのアクセスが良く、ここ近年は、消費者と生産者を結びつける地産地消の傾向が高まり、多くの消費者が足を運んでくれています。今後も、消費者のニーズに合わせた品種作りに取り組み、また、地域に貢献でき

るような農業を目指していこうと思っております。



9区 秋田谷 祐貴

今年から新規就農することになりました。わからないことも多いですが、地域の方々から多くのことを学び、農業者として成長していきたいです。



18区 今井 晋作

今までは、実家の農業を手伝っていましたが、この度、気持ちを新たに就農することを決意しました。

まずは、現在の稲作や畑作を学び技術を習得することが目標です。

まだわからないことが多く何も出来ませんが、父や諸先輩方を見習いながら、やりがいと責任を持って、営農に取り組みたいです。



18区 加藤 良幸

今年度より、新規就農することになりました。



18区 畠 開人

今年から新規就農させていただくことになりました。これからは、農業者として様々なことに挑戦し頑張っていきたいと思っております。また、地域行事などにも携わっていきたいです。



21区 若澤 巧

農業の知識や技術を、地域の諸先輩方や関係機関から学び、一日も早く一人前の農業経営者になれるよう努力します。また、新たに作付を始めたブロッコリー等の農作物を通じて、安全安心な農産物の生産に努めていきたいと思っております。



23区 出口 忠雄

春から就農し、解らないことばかりですが、諸先輩方や地域の方々から様々なことを学んできたと思います。また、家族で力を合わせて、次の世代へつなげられるような農業を行っていきたく考えています。



31区 梶山 隆一



31区 梶山 成美

一日でも早く知識や仕事を覚え、良質な農作物を作っていけるように、取組んでいきたいと思えます。そして、自分の手で外に発信していきたいような農業を目指していきたいと思えます。

米作研究会 スマート農業視察研修

ながめま農協米作研究会は7月16日に8名の会員が、江別市のヤンマーアグリソリユーションセンター、新十津川町の白石農園で視察研修を実施しました。

視察先のヤンマーでは、約3haの広大な土地で、GPSを利用した自動操舵や精密作業を試乗体験しました。

新十津川町の白石農園では、取組んでいるスマート農業技術開発・実証プロジェクトを視察させていただきました。生育状況を撮影し診断



するセンサー用ドローン、リモコンによる遠隔操作できる自動運転トラクター、他にもラジコン草刈機、自動給水装置「田門」、水田・気象センサーを見ながらお話を聞き、スマート

農業の技術が日進月歩で開発されており、今後の最新技術や農業機械へ理解が深まる有意義な時間となりました。



第3期種馬鈴しよ防疫検査

7月11日、令和元年度種馬鈴しよ第3期防疫検査が実施されました。

横浜植物防疫所の検査官により病害虫の有無などが厳しく検査された結果、全筆合格となりました。



ながめまクリーンライス生産協議会水稲現地研修会の開催

7月5日、町内3カ所で生産者24名が参加の下、水稲現地研修会が開催されました。

普及センターの西原専門主任を講師に迎え、令和元年産水稲生育状況や、幼穂形成期からの深水管理についての研修を行いました。研修会時は、現地ほ場の幼穂を調査し稲の生育を確認しました。また、省力化栽培についてのお話もあり有意義な研修会となりました。

小学生にちゃぐりんを贈る



南長沼小学校

農協では、これからの社会を担っていく子供たちに、日本の農業、それを支える担い手や農協について理解を深めてもらうために、町内の各小学校の5年生の児童と教諭らに食農教育の教材を贈りました。

贈った教材は、(社)家の光協会発行の雑誌「ちゃぐりん」(別冊付録『ニッポン農畜産物はじめものがたり』)で、南長沼小学校では、お米の歴史や全国のお米の品種について、また、和牛のルーツや和牛の誕生から出荷までなどを説明しまし



ました。マンガや写真も多く掲載されており、教材を受け取った児童は、とても喜んでいました。

JA自動車共済損害調査サービスで感謝状を授与



自動車共済の損害調査サービスを通じて、契約者へのJA共済自動車共済に対する満足度・安心感を高めることを目的とした「平成30年度JA自動車共済利用者満足度調査」において、全共連北海道本部より感謝状をいただきました。今後迅速かつ適正な対応により共済契約者の満足度と安心感の向上を目指し努力していきますのでよろしくお願いいたします。



JA共済連岩見沢 田口センター長から感謝状が成田組合長へ手渡されました。

グリーンパートナー交流会開催

グリーンパートナー実行委員会では、本年2回目となる交流会を7月6日、札幌市内「プレミアホテル中島公園」で男性8名、女性8名の参加のもと、開催いたしました。カップルにとられない幅広い交流会とするため、今回はカップリングをしない新たなスタイルでの開催となりましたが、積極的に行動する参加男性の姿が見受けられ、多くの素敵な出会いの場となりました。

また、参加男性から提供されたお米、トマト、ブロッコリーを使用した食事メニューは、『大変おいしい!』と参加女性から高評価をいただき、会話のきっかけとなる場面も見受けられました。次回交流会は11月を予定しており、担い手のパートナー対策を今後も支援してまいりますので是非ご参加ください。また本年より新たに50歳以上の交流会を企画しており、開催時期等詳細が決定次第ご案内いたしますので、興味のある方は事務局までご連絡ください。

事務局 経営相談課
担当 澤谷・高橋
TEL 88-22229

JA農業関係資金のご紹介

100万円以上の借入で

金利が **0.5%**

JAフルスペックローン：借入より3年間適用
JA農業経営ステップアップローン：借入より5年間適用
※適用期間後は、通常金利となります

JAフルスペックローン

- 農機具やパイプハウス等の購入
- 金利：変動 **1.5%**

JA農業経営ステップアップローン

- 農地の取得・改良、施設取得の費用
- 金利：変動 **0.95%**

※金利は8月1日現在

特別金利キャンペーン実施中

住宅ローン

住宅の新築・購入資金、修理費用等

- 期間：令和2年1月31日（金）まで
- 金利：3年固定 **0.8%**
5年固定 **0.9%**
10年固定 **1.0%**



マイカーローン

自動車の購入、車検・修理費用等

- 期間：令和2年1月31日（金）まで
- 金利：変動金利 **1.5%**
固定金利 **2.0%**



※当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます。

※別途保証機関への保証料がかかります。

※審査の結果、ローン利用をご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

詳しくは金融部融資課(TEL88-2224)までお気軽にご相談ください!

不要農機具・タイヤ等を回収いたします!

■ 回収日時 ~ 令和元年 8月26日(月) (1日のみ)

午前9時~午後4時

■ 受付場所 ~ JAながめま 野菜集荷場南側

無料回収農機具

トラクター、コンバイン、田植機、乾燥機、作業機、鉄材（ハウスパイプ・金具）、アルミ材、バッテリー（木製農機具は回収できません）

有料回収品

タイヤ

■ タイヤ回収料金（消費税別途）

	タイヤ		タイヤにホイル、汚れ、土砂、靱殻等あり	
	夏タイヤスタッドレス	スパイク	夏タイヤスタッドレス	スパイク
乗用車	200円	300円	300円	450円
2t~4t・4WD	500円	750円	900円	1,050円
11t	900円	1,200円	1,500円	1,800円

※ 上記以外のチューブ、フラップは100円/1本
また、大型のタイヤ、キャタピラ、トラクタータイヤは別途料金となります。
おおよそ5,000~15,000円/1本

回収に当っては...

- 各組合員が各自で積み搬入をすることを基本とします。
- 搬入される方は別途申込みが必要となります。（各行政区の事業推進員に取りまとめをお願いしています）
 - ・貨物自動車がなく引取りを希望する場合は大型農機具のみで、申込みが必要です。
 - ・ユニック車での引取りは26日のみで行い、トラクター、自脱コンバイン、乾燥機、大型作業機、小型作業機、田植機を無料で引取りいたします。ユニック車が横付けできるよう大型農機具は庭先まで移動をお願いします。
 - ・ユニック車の使用料金は無料です。
- ガソリン、バッテリー、オイル等は完全に除去してから搬入願います。
- ガスボンベは回収できません。
- 搬入時には、「産廃運搬車」と表示をお願いいたします。

お問い合わせ

主催は農機具とタイヤで各々異なりますが、いずれもご不明点等については下記までご連絡ください。

本所資材センター TEL88-2307

青年部 農協職員との交流会開催



7月5日、農協生産施設構内で青年部員と農協職員とのバーベキュー交流会を開催し、職員が各部署より23名、青年部員が63名、計86名が参加しました。
交流会では、新入部員の紹介や、新人職員の紹介が行われました。また、日頃の営農や農協事業・職員の業務等について会話が飛び交い、大いに盛り上がりました。

女性部「ひまわり部会」 ボランティア活動

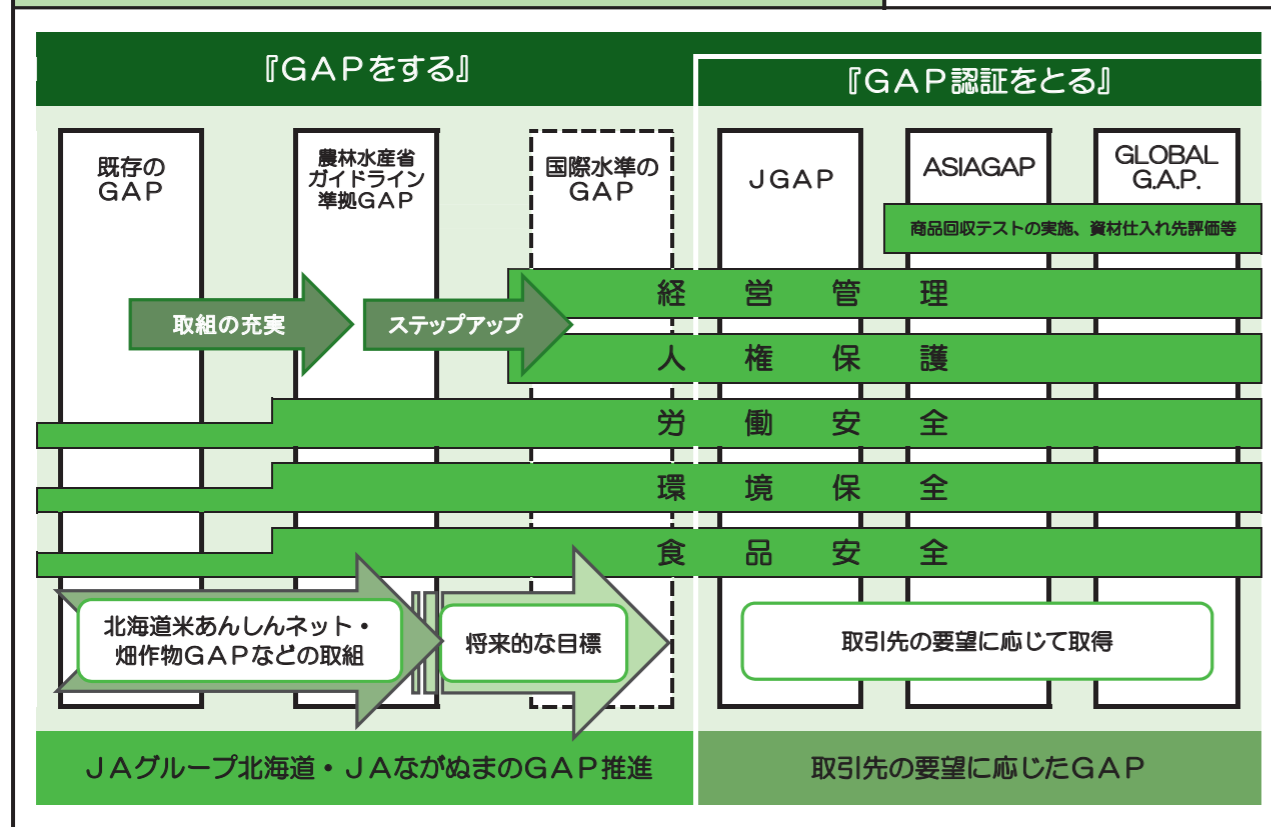


助け合い組織「ひまわり部会」は、7月20日、社会福祉法人長沼陽風会で開催された納涼夏祭りに、ボランティアとして13名が参加しました。会場内では、模擬店やリサイクル品販売のお手伝いを行いました。「ひまわり部会」では、野菜苗の寄贈や、デイスーパー、ふれあい昼食会など多くのボランティア活動に参加し、人とのふれあいや助け合いの気持ちを大切に活動しています。

女性部「コスモス部会」活動



花苗立「コスモス部会」では、7月18日にながめまフラワー推進協議会の「花フォーラム」で苦小牧方面への研修に参加しました。
イコロの森ではローズガーデンや森の中の自然を生かした草花を見て回り、花の色や種類の多さに感動しました。
午後からは、ノーザンホースパークで1000品種の草花が楽しめるポタニカルガーデンを見学し、最後は長沼町で、今年から始めた運河公園の花壇を見学しました。この花壇作りの際し、同部会から花苗が提供されており、協議会の皆さんと部会員の協力で、多くの人が立ち寄れる憩いの場所になることを願っています。



連載 ギャップ GAP講座

東京オリンピックでの食材調達基準としても話題になっているGAPについて、皆さんに広くご理解していただけることを目指し、GAPの基礎知識を連載しています。

最終回 JAグループ北海道・JAながめまのGAP取組み

■GAPをめぐる情勢

近年では、大手の飲料・菓子メーカーや大手スーパー等との取引にGAPが必要とされているほか、国の事業の一部でもGAPが要件となっています。また本年2月に日EU・EPAが発効され、GLOBAL G.A.P.が普及しているEU主要国との取引機会が増えているなど、全国的にGAPの気運が高まりを見せています。

一方、農林水産省は国内の農業生産活動における「食品安全」「環境保全」「労働安全」について、特に実践を推奨すべき取組みを明確化したGAPのガイドライン（農水省ガイドライン）を示し、このガイドラインに準拠したGAPの普及を推進しています。

■JAグループ北海道の取組み事例

JAグループ北海道は、既存GAPの充実を図り、重要項目である「食品安全」「環境保全」「労働安全」についてチェックリスト方式による「農水省ガイドライン水準のGAPをすること」を目指しています。

主食用米については、生産者とJA、ホクレンが一体となって進めている「北海道米あんしんネット」の取組みの中で、『北海道米あんしんネットGAPチェックシート』の推進をしています。

畑作物については、令和元年度から畑作物4品目（小麦・豆類・てん菜・馬鈴しょ）を一本化した『畑作物GAP』の推進をしています。

そして将来的にJAグループ北海道は、GAP認証取得の有無とは関係なく「国際水準のGAPをすること」を目標としています。

■JAながめまの取組み事例

JAながめまにおいて、主食用米と畑作物4品目については、JAグループ北海道の取り進めと同じく、『北海道米あんしんネットGAPチェックシート』および『畑作物GAP』により『GAPをすること』を推進していきます。

また青果物については、すでに取引先の要望に応じた独自GAPやGLOBAL G.A.P.水準のGAPを一部で実施しています。今後の動向によってはGAPを必要とした取引の拡大も想定されますので、引き続き消費動向の把握により先を見据えた対応と生産者の皆様への情報提供を随時行なっていきます。

■GAP講座まとめ

全3回の連載を通じ、『GAPとは何か』を解説してきました。

GAPにおいて何よりも重要なことは、GAPを通じて『農作物』『自然環境』『農作業をする人』にとって『より良い農業を実現すること』です。

日々の営農の中にGAPを積極的に取り入れましょう！

GAP Q&A

米・小麦・大豆を作ってるのだけど、JAグループのGAPって、どんなことするの??

チェックリストをつけてもらいます。
JAグループが配布するGAPチェックシートの記載項目について、適切に実施しているかどうかを生産者ご自身の判断によりチェックしていただきます。

JAグループのGAPの取組みは難しい??

いいえ、みなさんがいつも行なっていることです。
品目によって異なりますが、具体的には、「作業機械の洗浄・清掃を行なっていますか」「農業のドリフト対策を行なっていますか」「適期収穫を行なっていますか」などです。詳しくはJAながめまの担当部署より周知いたします。

うちの農産物の大半はJAながめまへの出荷なんですけど、それでもGAPは必要なのかな??

必要です。ぜひGAPに取組みましょう。
GAPの普及とともに、『GAPをしている』ことが重要となる場面が増えると考えられます。そして何より、『より良い農業』を実現する手段として有効です。積極的にGAPに取組みましょう！



7月3日に全道JAの組合長ら70名が参加し、国際貿易協定・交渉の情勢並びに令和2年度国費予算概算要求に係る農林水産省との意見交換会を実施しました。日米貿易協定交渉を含む国際貿易協定については、農業が犠牲にならないよう取り進めるよう十分な検証と対策を実行するよう要望しました。国費予算概算要求については、JAグループ北海道で決定した政策提案を元に、作目別共通対策、水田農業対策、畑作青果対策、酪農畜産対策と農林水産省に対して、北海道の生産現場に必要な意見を要望しました。今年が国が「食料・農業・農村基本計画」を見直す5年に1度の重要な年であり、見直しにあたっては専業農家が多い北海道農業が食料安定供給に果たす役割の明確な位置づけと、北海道農業の根幹を支えている家族経営が農業生産を維持・拡大できる施策を盛り込むことなど、を要望しました。引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現を図り、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取組んでまいります。



JA北海道信連



札幌市の大通公園には、各企業等の協力により造成されているスポンサー花壇があります。JAバンクも、農林中央金庫が中心となって、長年、花壇造成に協力してきています。今年も、7月6日、農林中央金庫札幌支店や北海道信連の職員などが参加し、大通公園西4丁目で植栽を行いました。



JAらしい緑化事業への参加を通じて、JAバンクは豊かな地域社会づくりに貢献しています。

JA共済連北海道



JA共済連では、7月6日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志26名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ることで、JA共済を大きくPRしました。



今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。

ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は、北海道内の小学校で「みんなで走ろう！陸上教室」を開催しています。今年も厚真町の厚真中央小学校を皮切りに、同校を含む6校を対象として、走り方の基本や基礎トレーニング方法などを分かりやすく指導しています。この活動は地域・社会貢献活動の一環として2011年から続けております。厚真中央小学校では4～6年生合わせて約70人を指導し、楽しみながらランニングの基本や筋力トレーニングを教えました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



農作業事故に注意しましょう！

機械作業編

今からすぐにやってみよう！

今すぐできる

～農作業事故の対面調査から得られた事故防止対策～

機械作業を中断するときはエンジン停止！

刈払機の刈刃やトラクターのロータリなど危険な部分に接触する事例がありましたが、機械での作業を一時中断するときに、エンジンをかけたままにしておいたことが原因の1つでした。

機械操作を中断するときは必ずエンジンを止める習慣を身につけましょう。

駐停車をするときは、駐車ブレーキを確実に！

停めたトラクターが勝手に動きだし、転落事故やケガに至った事例がありましたが、駐車ブレーキが確実にかかっていなかったことが原因の1つでした。

トラクター等を駐停車するときは、駐車ブレーキを確実にかける習慣を身につけましょう。

「ちょっとだけだから・・・」は危険！

トラクターが転落した事例や回転刃のチップソーで眼を負傷した事例がありましたが、ちょっと(の移動、の間)だけだからと、左右ブレーキの連結や、防護メガネを装着しなかったことが原因の1つでした。

「ちょっとだけ」でも、危険なものは危険です。常に安全な操作や装備を心がけましょう。

ここには、事例に応じた対策を記載していますが、実際には、使用する機械や道具の状態、ほ場や農道の状況によって、現場に応じた様々な対応策が考えられます。地域における農作業事故根絶に向けて、どのような取組がもっとも効果的か、地域の皆様で継続して検討していきましょう。

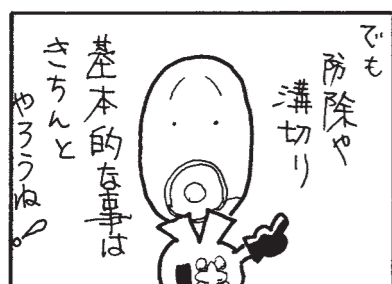
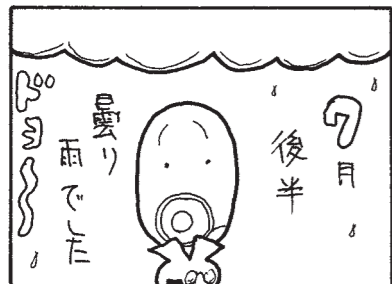
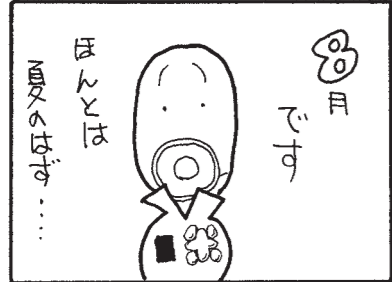


この他にも農作業安全情報をHPに掲載！

農水省 農作業安全

検索

1等マンガ



自主検査士の紹介

JAの農産物検査については、自主検査士を配置し指導にあたります。

小麦・米・大豆の適期刈取指導及び麦バラ施設、米の館での自主検査において指導・検査してまいりますのでよろしくお願いいたします。



後列左より 温井 元(岩見沢市) 伊藤 正吉(札幌市) 吉田 美智男(札幌市)
前列左より 西村 榮二(江別市) 関本 輝雄(札幌市) 千葉 正夫(岩見沢市)



Aコープからのお知らせ

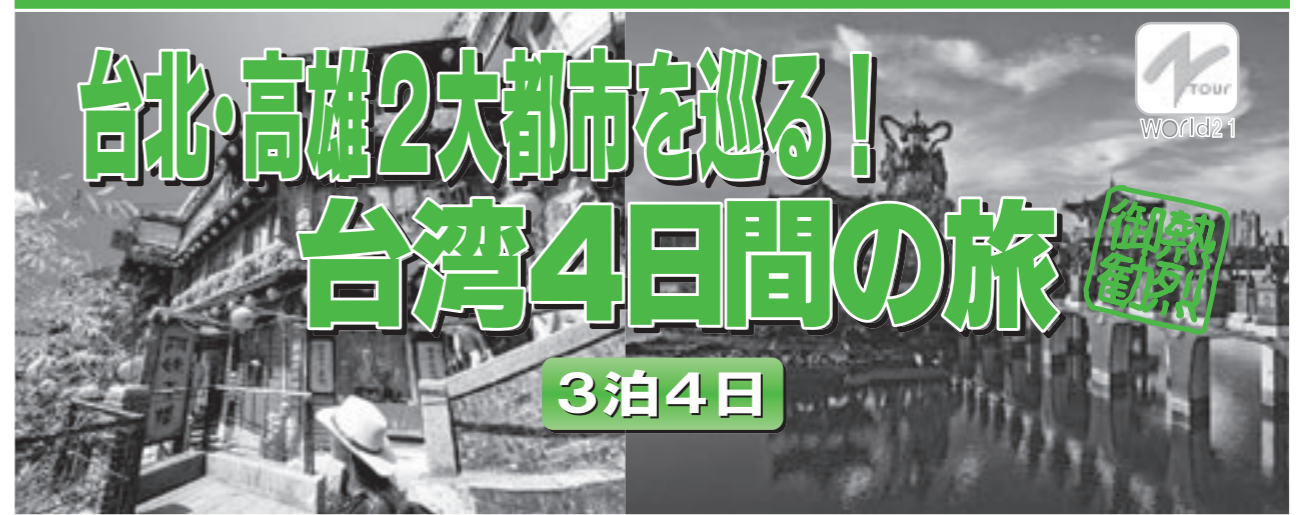
Aコープながめ店は、10月に施行される消費税増税及び軽減税率に対応するためレジシステムの変更を行います。

これに伴い、現在ご愛用いただいております、「Aコープメリットカード」及びレジにて発券いたしました「割引券」は、8月28日以降ご使用いただけなくなりますのでご承知おき願います。

5月1日より、割引券を200ポイント毎に発券しておりますので、お早めにご利用いただけますようお願い申し上げます。

なお、8月28日閉店時における残ポイントは切り捨てとなりますのでご了承ください。

南空知管内女性農業者研修旅行企画



日次	日付	都市名	時間	交通手段	行程内容	食事(予定)		
						朝	昼	夕
1	11/19(火)	JA各支所 新千歳空港発 台北着	午前 14:20 18:00	送迎バス CI131 専用車	JAより、送迎バスにて新千歳空港へ 出国手続き後、国際線にて空路台北へ。 入国手続き後、「台北料理」のご夕食その後ホテルへ。 夕食後、士林の夜市散策にご案内致します。【台北泊】	機内食	市内レストラン	市内レストラン
2	11/20(水)	台北市内 九份	午前 午後	専用車	午前：台北市内観光にご案内致します。 (台北市内スーパーマーケットソゴウ・微風広場や 濱江市場、龍山寺など) 台北市内レストランにて昼食。 午後：ノスタルジックな街九份を見学 夕食は「小籠包」をご用意致します。【台北泊】	ホテル	市内レストラン	市内レストラン
3	11/21(木)	台北 台北 台南 台南	午前 08:46 10:33 午後 午後 夕刻	専用車 新幹線	専用車にて台北駅へ移動します。 着後、台湾新幹線にて台南駅へ 到着後、専用車にて台南市内観光 (高山頭ダム、八田興一記念館など) 台南に郷土料理の昼食後、高雄へ移動 到着後、専用車にて高雄市内観光(蓮池潭) 高雄市内レストランにて海鮮料理の夕食後、ホテルへ移動 【高雄泊】	ホテル	市内レストラン	市内レストラン
4	11/22(金)	高雄 高雄 新千歳空港着 JA各支所	午前 13:00 18:00	専用車 CI134 送迎バス	専用車にて(民芸品店、寿山公園)へ立ち寄り お土産購入後、専用車にて高雄国際空港へ 出国手続き後、国際線にて空路新千歳空港へ。 大変お疲れ様でした。 入国関税手続き後、送迎バスにて各JAへ	ホテル	機内食	市内レストラン

■ 利用予定航空会社/BR:エアー航空 ■ 行程表に記載のお時間はあくまで予定であり、現地諸事情等により変更の場合がございます。予めご了承下さい。

ご提案の内容

※詳しい旅行条件は、別途ご提出する「旅行取引条件書面」をご覧ください。

- 旅行実施期間
令和元年11月19日(火)～11月22日(金)
- 旅行代金(お一人様・2名様1室利用・有料人員15名様以上にて)
お一人様 132,000円(スーパーアクラス)
- *利用ホテル:台北/ゴールデンチャイナホテル・高雄/ハワードホテル
- 申込締切:令和元年09月19日(木)まで



- その他 旅行条件
・空港税・燃油サーチャージ(約11,370円)を含んでおります。
・添乗員は新千歳空港より同行いたします。
・食事/朝3回 昼2回 夕3回

企画実施

株式会社農協観光 岩見沢営業支店

TEL(0126)22-1263 FAX(0126)22-1273 担当者/佐藤・菊地・坂東

本書は募集チラシではありません。本企画提案書に関してご不明な点は、営業担当者又は総合旅行業務取扱管理者までお気軽にお問合せ下さい。

理事会報告 - 第8回 -

《令和元年7月18日開催》

[議案]

- 第1号 第1四半期自治監査講評
- 第2号 令和元年度内部監査計画の変更について
- 第3号 労働保険事務組合事務処理規程の一部変更について
- 第4号 北海道肉用牛災害総合対策事業実施に伴う簡易施設・器具機材等の管理利用規程の一部変更について
- 第5号 子会社(株)FAMO長沼出資金の一部譲渡について
- 第6号 マネロンガイドラインに基づくギャップ分析について
- 第7号 固定資産の取得について

[報告事項]

1. 会議・行事等の報告について
2. 農産物生育状況等について
3. 経営所得安定対策の申請状況について
4. 令和2年度農業予算概算要求に関する政策提案について
5. 令和元年産野菜・花き市況等の状況について
6. 貯金顧客宛DMの廃止について
7. 不祥事件発生に伴う内部牽制機能の一斉点検結果について
8. 子会社第1四半期の状況について
9. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組合員 1,628名
 正組合員 (854名)
 准組合員 (774名)
 正組合員戸数 716戸

農協の動き 6/24~7/18

6月

24~28日	コンバイン等共済推進	於 組合員宅
26日	南空知地方安全運転管理者事業主会総会	於 JAそらち南
26日	長沼町養豚協会臨時総会	於 農 協
27日	北海道農協米対策本部委員会	於 札幌市内
27日	事業推進員会議	於 農 協
28日	農業法人会交流会	於 ながめま温泉
28日	空知青果物振興協議会	於 空知農業会館

7月

1日	新規採用職員面接試験	於 農 協
2~4日	職員研修旅行	於 長崎方面
3日	農林水産省とJAグループ北海道との意見交換会	於 東京都
3日	麦バラ施設運営協議会	於 農 協
5日	北海道花き生産連合会現地研修会	於 町内ほ場他
5日	施設長会議(小麦乾燥施設)	於 農 協
6日	グリーンパートナー交流会	於 札幌市内
8日	日本農業新聞購読推進	於 組合員宅
9~12日	みのり監査法人期中I監査	於 農 協
10日	土地連空知支部理事会・全体会議・役職員研修会	於 岩見沢市内
10~12日	空知管内JA常参総協議会道外視察研修	於 島根県方面
11日	第3期種馬鈴しょ防疫検査	於 農協・各ほ場
16日	日本農業新聞南々空知地区購読推進	於 南々空知各JA
16~17日	役員OB会総会・研修会	於 岩内方面
17日	長沼町クリーン農業推進協議会総会	於 長沼町民会館
17日	長沼町花嫁対策推進協議会総会	於 長沼町民会館
17日	新規就農者激励会	於 長沼町民会館
18日	理事会	於 農 協

食と農
ひらく未来へ確かな目

食農のページがもっと楽しく
食農教育の知識がいっぱいつまっています。

購読のお申し込みはJAへ  THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS **日本農業新聞**

